

新春特別企画 JA広島市 3者対談

JA広島市 代表理事組合長

吉川 清二

JA YOUTH広島市 委員長

福田 卓己

JA広島市レディースクラブ 会長

酒井 絹枝



JA YOUTH広島市 福田卓己委員長



JA広島市レディースクラブ 酒井絹枝会長



JA YOUTH広島市

JA広島市管内の農業従事者で結成されています。現在盟友210名(7支部)が、農業に関する情報を交換し合ったり、地元の行事に参加するなど、農業生産の拡大や地域農業の周知に取り組んでいます。

JA広島市レディースクラブ

JA広島市管内の女性組織です。現在会員約4,800名(50支部)が、地域に密着した協同活動を展開し、地域の活性化、そして自らも輝くことを目指して取り組んでいます。



JA広島市 吉川清二代表理事組合長

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

組合員、地域の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと存じます。さて、JA広島市では、今年度新たに「第8次中期経営計画」および「第6次営農振興計画」をスタートさせ、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」に向け、地域農業の振興と地域社会の活性化に向けて「組合員の負託に応える『総合事業』の更なる展開」地域の暮らしに確かさとしをテーマに、創造的己改革への挑戦と営農支援や各種事業を通じた良質なサービスの提供に取り組んでいるところでございます。取り組みにおいては、「組合員の声を聴き・声に応える徹底した話し合い実践運動」をより一層深化させ、組合員の意思とJA広島市の取り組み意識を隔たりなきものにし、地域に根差した協同組合としての使命と役割を果たしてまいりますので、本年も皆さまのより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

代表理事組合長 吉川 清二



新年号では特別企画として、JA広島市の吉川清二組合長と、農業者組織JA YOUTH広島市の福田卓己委員長、女性組織JA広島市レディースクラブの酒井絹枝会長に、JA広島市の自己改革などについて語っていただきました。

組織活動において、重点的に取り組んでいることを教えてください

福田委員長…JA YOUTH広島市には現在、管内で農業に従事する盟友が210名所属しています。そうしたなか、組織力の底上げや強化、活性化を期して、2019年7月の総会で組織内に青年部を立ち上げました。各々の農業生産の拡大を目指し、農業経営に関する勉強会の開催や視察研修などを行っておりますが、今後はもっとJAのことも知り、JAの運営にも積極的に参画してい

きたいと考えています。

酒井会長…JA広島市レディースクラブは、以前は会員数が1万近くいましたが、高齢会員の脱退などで現在会員数は約4800名です。そうしたなか、現在、次世代層の育成に取り組んでいます。レディースクラブでは、さまざまな活動を通じて個人ではできないこと、やりたいことが実現できます。特に今年度は2015年の国連サミットで採択されたSDGsについての勉強会を行いました。若い人たちにも、やりたいことがレディースクラブの活動で実現できるんだということを知っていただくことで、新たな会員を増やす取り組みを行っていきます。

吉川組合長…JA広島市の組織運営と基盤強化を図るうえで、両組織とも欠かせない組織です。また、自己改革に取り組むなかで、農業者の所得増

大、農業生産の拡大、地域の活性化についても、それぞれの立場から尽力いただき感謝しています。将来にわたって、JA広島市の運営にどんどん参画していただき、さまざまな意見をいただくよう期待しています。

JA広島市が現在取り組んでいる自己改革についてどう思われますか

福田委員長…農業者に対して、より一層の歩み寄りを感じます。農産物のブランド化や販路の拡大についてもさまざまな提案をいただけるので、盟友の力を結集して、より大きな力で農家所得の向上につながる取り組みが進んでいけばよいと考えます。

酒井会長…JA広島市からレディースクラブへの支援が広がっていると感じます。会員は、旅行や購買品の購入などJAの事業利用を行うなかで、相互に協力をする関係が築けているのではないのでしょうか。会員の皆さんには、こうした事業利用の協力に対し大変感謝しています。JAからの支援も受けながら、レディースクラブも地域の活性化に取り組んでいますし、これからも協力していきたいと思っています。

吉川組合長…両組織にお願いしたいのは、われわれ役員がどんどん出向いていくので、いろいろお話を伺いたいということです。それぞれがどういうことに取り組んでいるか、思っているかを話し合うことで、皆さんの思いとJA広島市の取り組み意識に隔たりがないものとし、皆さんに喜んでいただける取り組みを行っていきたく考えておりますので、ぜひ話を聞かせてください。

お互いの活動で協力し合っていることはありますか

酒井会長…現在定期的に交流会を開催しています。レディースクラブ会員が生産者の圃場を見学させていただき、意見交換を行ったり、一緒に料理を作ったりしています。

福田委員長…ぜひ、われわれの野菜がマーケットでお客さんに手に取ってもらえるよう、主婦が調理したくなるようなレシピをPRしていただきたい。JA広島市管内の農産物を「食べてもらえ」「消費してもらえ」「仕組み作りを通じて、ともに食農教育を進めていきたいです。」

吉川組合長…管内農業の振興や地域の活性化等に向け、また、地産地消を推進し、「顔が見え、話ができる産地づくり」のためにも、力を合わせ取り組んでいきたいと思います。

JA広島市に対して希望することは

酒井会長…職員の方にもっとプロ意識を高めていただきたい。特にJA職員として農に関する知識を深めることは重要だと思います。

福田委員長…JAは農業者の代表で顔なので、われわれの政策提言や思いを色濃く反映した組織運営を期待します。そのため、私たち盟友も、もっとJAのことを勉強するので、役員の方もより農業の現場のことを知っていただきたい。畑を前にして共に話せることはたくさんあると思います。

吉川組合長…皆さんのお話にはこれからも真摯に耳を傾けてまいりますので、どんどんご意見をください。個人、一人ひとりのご意見には難しいですが、皆さんの共通した思いにはしっかりと応えていきたいと考えています。これからも農業の振興、地域の活性化に皆で取り組んでいきたいと思います。